

物語文を読むときに考えること

題名…………… 中心人物の名前 キーアイテム・キーワード 作中の台詞

場面の变化…時間、場所、人物の変化を参考に考える

登場人物…… 中心人物は誰か、

中心人物に深く関わり影響を与える人物は誰か

山場…………… 作中で中心人物のものの見方

考え方や人物同士の関係が大きく変わるところはどこか

一番大切なこと

中心人物の心情の変化を読み取る

・どのように変わったか
・なにが変えたのか
・どうして変わったのか

物語の「最後の一文」は、その話の要素がギュッとつまった一文です。そこから考えを広げていくことで、様々な気付きに出会えるでしょう。

登場人物に寄りそって考えよう

まずは、登場人物の言動から、その人物の考えや心情を読み取りましょう。
「その人を知る」ことから始めましょう。

自分の考えを作ろう

登場人物に寄りそった後は、自分の考えを作りましょう。納得・共感・反発・疑問。
自分はどのように考えたのかを大切にしましょう。

自分の言葉で表現しよう

自分の考えを作れたら、自分の言葉で表現しましょう。「発表する」「書いて表す」「音読で表す」。得意なことから少しずつ。

つなげて考えてみよう

- ・言葉と言葉、文章と文章、場面と場面をつなげて考えてみましょう。その考えや行動は、前の出来事とつながっています。次の考えや行動はその次の出来事につながっています。その時その時で考えるのではなく、広い視野を持って読み進めましょう。

- ・これまでの学年で読んだことのある物語をつなげてみましょう。内容で似ているところや違うところをみつけながら読むと、深く読み進めることができます。またその時学習した「読み方」を活用してみましょう。

対比させよう

- ・二つのものを比べることによって、それぞれの特徴や性質に気づけます。考えに困ったら、まずは比べて考えてみましょう。

比喩表現・情景描写を見つけよう

- ・比喩表現や情景描写の中にある事実や考え、心情を読み取りましょう。文学的表現に立ち止まることで、考えが広がり深まります。